

⑫ 公開特許公報 (A)

平3-169967

⑬ Int. Cl. *

E 04 F 15/02
15/04
15/16

職別記号

C
B
F
E府内整理番号
7805-2E
7805-2E
7805-2E
7805-2E

⑭ 公開 平成3年(1991)7月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称

覆蓋土床材

⑯ 特 願 平1-306911

⑰ 出 願 平1(1989)11月27日

⑱ 発明者 林 守 男 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
 ⑲ 発明者 山崎 晴好 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
 ⑳ 発明者 雄岸 康之 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
 ㉑ 出願人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
 ㉒ 代理人 弁理士 石田 長七 外2名

明細書

1. 発明の名称

覆蓋土床材

2. 技術領域の範囲

(1) 地下地上に設置される覆蓋土床材であつて、柔軟性を有するシート状の合成樹脂成形品質の基材の表面に導入した木質化粧板が複層され、基材の一側面に結合突部が形成され、他の面に結合突部が嵌合することができる組合面所が形成され、結合突部と組合面所との一方に嵌合の突部が形成され、他方に嵌合の突部が嵌入して嵌合めぐる嵌合面所が形成されて成ることを特徴とする覆蓋土床材。

3. 発明の詳細な説明

【覆蓋土の利用分野】

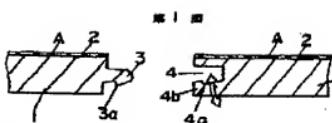
本発明は、モルタル、コンクリート等により仕上げられた地下地上に直接に設置される覆蓋土床材に関する、詳しくは木質の表面を有しながら、木質系における度りを面離し、柔軟性も付与し、か

かる構成のものを製作するに付るとともに、その施工において抜止めを行う抜止め構造も容易に構成しようとする技術に関するものである。

【実用の技術】

従来から、モルタル、コンクリート等により仕上げられた地下地上に直接設置される木質床材は知られている。例えば、底面に紙ナシ紙、木質合板のような木質基材¹の表面に被覆板の織りを並設し、両表面にタッピング糊²を貼附してなる木質床材³が知られている。ところでこのような木質床材³は、地下地上に直接設置する場合施工等により固定されて設置地工されるものであり、糊²とタッピング糊²によって、荷重拘束が掛られるものである。しかしながら、このような木質床材³においては、織りが剥がれられているものの、木質基材¹には表面柔軟性がなく、充分な表面柔軟性を得るために、織りの並設間隔を増やしたりあるいは織りの織き目を多く形成した場合には、糊²に対応して木質化粧板⁴の表面に亀裂が発生しやすく、強度及び表面光沢上問題となるものであつ

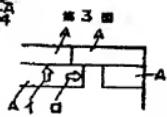
1...基材
2...未硬化樹脂
3...一極止突部
4...二極止突部
4a...極止の凹面



第1図



第2図



第3図



第4図

